

## 卒業

3月19日（火）はいよいよ卒業式です。

18日は前日準備を全校で行いました。1から5の全学年、6年生を気持ちよく見送ろうと、飾り付けや清掃に励みました。

そして19日の当日を迎えました。まず朝、校庭で「卒業生とのお別れ会」を行いました。すでに登校班で並んでくるときに、6年生が卒業式用の正装で来るのを下級生たちは見っていますが、6年1組、2組と並んで入場してくるときには、みんなそろってまた格別の立派な姿でした。思えばこの朝、正装に身を包んだ6年生が、下級生たちと並んで班で登校してくる姿は大変ほほえましかったです。登校班の集合場所では、6年生のいつもとは違う姿を見て、きっと歓声が上がっていたことと思います。

1～5年生から呼びかけや歌を贈りました。卒業生からも歌と言葉のお礼がありました。その最後に6年生たちから在校生たちに「大好きです！」との呼びかけがあり、これまでのかたい絆が感じられて感激しました。

そして卒業生たちは、会の最後に在校生たちの間を並んで通り抜けながらお別れをし、昇降口へと上がって行きました。中に入る前に、在校生と卒業生でお互いに大きく手を振って、「元気でね」「おめでとう」「ありがとう」など声をかけ合っていて、この姿にも強い絆を感じました。



その後の体育館での卒業式、6年生たちは6年間で身に付けた力を十分に発揮しての、素晴らしい姿で証書を受け取りました。4年ぶりに来賓にご参列いただき、ともに150周年記念行事を行った地域の方々にも祝っていただくことができました。また、5年生も参列して、在校生代表として大変立派な態度で6年生を見送りました。来年の自分たちの手本としても、大いに学びとなったことと思います。

私からは、心の劇場で6年生と一緒に鑑賞した劇団四季のミュージカル「ジョン万次郎の夢」から、万次郎の姿にふれて言葉を贈りました。困難につきあたってもあきらめない姿は、80年前に釜利谷小学校を六浦小学校の分教場から、独立した本校に戻した地域の方々の姿と重なること、だから今回の卒業式は第八十回であること。願いや夢に向かって真摯に努力し、その中で仲間を増やしていく姿が、卒業生のみなさんと重なって見えることなどを話し、これからも仲間とともに夢に向かって進んでいってほしいと伝えました。

最後の「お別れの言葉」では、これまでで一番の呼びかけと歌を披露していました。

式の後、保護者の方々、教職員、5年生のみなさんで校庭に花道をつくり、卒業生を見送りました。

卒業生のみなさん、本当に、心から、おめでとうございます。